

青垣

第2号 発行日 平成20年4月17日

雲南市立吉田中学校だより

4月8日から平成20年度がスタートしました。特に当日は着任式、始業式、そして午後からは入学式と、年度当初の大きな行事が重なっているため、生徒も教職員も大変忙しい一日でした。その中で、教職員そして生徒たちの組織的な準備、片付けには、目を見張るものがありました。お陰様で素晴らしい入学式と諸行事をスムーズに行うことができました。

地域の皆様、65名の吉中生徒と16名の教職員が心一つに頑張ります。よろしくお願いいたします。

平成20年度1学期のキーワード

目標・挑戦

始業式では、1学期のキーワード「目標・挑戦」を伝え、一人一人が目標を持ち、それに向かって挑戦してほしいと伝えました。そのためには、ということで『鍛錬千日之行 勝負一瞬之行成り』と書いた用紙を掲げ、次の説明をしました。鍛錬とは、元の意味は「金属を打って強くすること」であり、一般的には「激しい稽古を積んで、心身や技能を磨くこと」である。勝負一瞬之行とは、身近なことで表すなら、勉強では「上級学校への試験当日の一瞬」、部活動では「県吹奏楽コンクールでの一瞬」「市総体での一瞬のプレー」のことである。鍛錬千日之行とは「演奏会や試合で満足のいくプレーをするためには、3年間ひたすら努力することが最も大切である」こと。を説明し、勉強や部活動の目標を達成するためには、日々の挑戦が最も大切であることを話しました。

また、各学年の代表が今年度の抱負をステージで堂々と述べてくれました。一人ひとりの目標が達成できるよう、しっかりと「実践」をしましょう。



体育館ステージ右上に掲げられている「鍛錬心身」

平成20年度 入学式



好天に恵まれた8日(火)、多数の来賓の皆様にご臨席をいただき、盛大に入学式を行うことができました。今年の新入生は、21人(男11人、女10人)で、1年生の元気の良い返事には、吉田中学校で始まる新しい生活への希望とやる気があふれていました。本当に、頼もしい限りです。

校長として、中学校生活の第一歩を踏み出す新入生の皆さんに、三つのこととお話し、新入生を激励しましたのでご一読ください。

一つ目は、「人を一人の人間として大切にしてほしい」ということです。自分を大切に、そして家族や地域の人々を大切に、一人ひとりの個性を認め尊重してほしいと思います。人はみな同じではありません。顔が違ったり、性格が違ったり、考え方が異なったりします。「みんな違って、それでいい」「みんな違って、それでいい」私はこの言葉が大好きです。いろいろな違いをお互いに理解し、相手の立場を十分に思い合いながら、人と人の良きつながりを築いてほしいと思います。

二つ目は「知恵と創造・夢を持って学んでほしい」ということです。「知恵」とは、物事を判断し、計画・処理すること。「創造」とは、初めての物事や考え方などを生み出すこと。「夢」とは、希望や理想を意味しています。中学校での学習内容は、小学校での基礎基本を土台として学ぶ訳ですから、これまでと違った感触があると思います。(裏面につづく)

そこで、「中学生としてどのような心構えで学ぶか」ということを考えてください。当たり前のことですが、勉強は、自分から求めて自分で行うものです。決して人のためのものではありません。したがって、目的や目標を持って学ぶことが大切であり、それも自らの意志で計画的に学ぶことが大切なのです。別の言葉で言えば「やる気と志」が大切ということです。

三つ目は、「充実した学校生活を過ごしてほしい」ということです。中学校では、教室での勉強の他に、生徒会活動、部活動、学校行事などがあります。

これらの活動を通して友情を育んだり、自分自身を伸ばしたり、社会性を身につけたりします。一方、友達との考え方の違いや、能力の違いから、時には戸惑ったり悩んだりすることもあるでしょう。しかし、このような戸惑いや悩みは、皆さんを大きく成長させ「自分自身の更なる発見の場」となります。また、三年後には高校進学や就職など、その先には責任ある社会人としての未来が皆さんを待っています。そのためには、どのような中学生生活を過ごせばよいのかをしっかりと考え行動してほしいと思います。

以上で私の三つの話を終わります。

新入生を代表して内田峻介さんが「誓いの言葉」を、在校生を代表して生徒会副会長の河角翔太郎さんが「歓迎の言葉」を堂々と述べてくれました。



内田峻介さん

新入生 誓いの言葉

私たち21名は、今日、この吉田中学校に入学し、喜びの気持ちでいっぱいです。

中学校では勉強が難しくなり、授業のスピードも上がると思います。それに新しく英語も習い、ますます大変になると思うので、予習復習をして、しっかりと授業についていけるようにしたいです。

小学校では無かった部活動も始まります。自分を鍛え全力でがんばります。また、田井や民谷の同級生と一緒に勉強することになるので、仲良く楽しく授業をやりたいです。友達をたくさん作り、何事にも一生懸命に取り組んで、充実した中学校生活を送ることを誓います。



河角翔太郎さん

在校生 歓迎の言葉

中学校は小学校と違うところがいくつかあります。授業では英語という新しい科目を勉強します。小学校でも ALT さんとの授業があったと思いますが、もっと深く英語を学ぶことができます。中学校では科目ごとに担当の先生がおられ、分からないことがあれば直接聞くことができるので、どの教科も詳しく幅広く勉強することができます。

他には、生徒が中心となって活動を進めていく生徒会の活動があります。執行委員会を中心に5つの委員会が仕事を分担して自主的に活動を行っています。文化祭や体育祭など生徒会が企画し運営していく楽しい行事もあります。成功させるためには、準備や練習はもちろんですが、チームワークや協力し合う心が大切になってきます。

新入生の皆さんと一緒に、お互いの気持ちを大切にしながら楽しい生徒会を創っていきましょう。

それから、楽しみにしている人も多いと思いますが、中学校には部活動があります。吉田中学校には、野球部、バレーボール部、吹奏楽部の3つの部活動があります。

僕は野球部に所属しています。練習はきついですけど、学ぶもの得るものがたくさんあります。例えば礼儀です。挨拶がしっかりできるようになります。そして、トレーニングを継続することで体力が向上します。また、精神的にも強くなれます。いずれの部活動でも、仲間や先生方との関わりの中で、自分を高め協力して取り組む姿勢が身につくことでしょう。ぜひ興味ある部活動に入部し、一緒に力を合わせ大きな喜びを味わいましょう。

最後にもう一つ小学校と大きく違うところは、中学校は、「自分の将来を自分で決める場でもある」ということです。これからの3年間を、自分の将来や夢を見つめながら、その目標に向かって努力していくことで、今まで以上に充実した学校生活を送れることと思います。分からないことがあれば僕たち2、3年生に遠慮なく相談してください。僕たちと一緒に力を合わせ最高の吉田中学校を築いていきましょう。(一部省略)



岡田律子さん、田部五月さんに生けていただきました、入学式ステージの生花